

### 8 月の予定

教会委員会	休み
典礼委員会	休み
聖モニカ ミサ	8 月 6 日 19 時
聖母被昇天 ミサ	8 月 15 日 10 時



## 2009 年 8 月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1  
Tel. (045) 803-6141

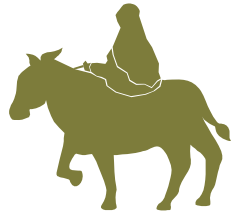
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成 21 年 8 月 2 日



## 聖母マリア様の取りつぎを願って

主任司祭 小林 陽一



マリア様の父の名は聖ヨアキム、母の名は聖アンナですが、聖アンナはよく知られた聖人です。マリア様は、この両親にかわいがられ、深いいつくしみをもって育てられました。教会の聖人伝では、マリア様は一人っ子であったと伝えられています。聖アンナは敬虔な、信心深い生き方をなさったそうです。

マリア様を授かった聖アンナは、エルサレムの神殿で奉仕する少女の仲間にマリア様を送り、数年後、家に連れ戻した聖アンナは、針仕事、台所の仕事、家計のやりくり、聖書の朗読などをマリア様に教えた、と聖人伝は伝えております。

ヨゼフ様の婚約者となり、ヨゼフ様に仕える心構えをしておられたマリア様の前にみ使いが現れ、「恵まれた者、主はあなたと共におられます。あなたは神から恵みをいただいたのです。あなたはみごもって男の子を産むでしょう。その名をイエズスとつけなさい。彼は偉大な者となり、いと高きおん者の子と呼ばれます。(ルカ 1 章 28 節～ 32 節)」と言われました。深いおどろきの中で、マリア様は、「わたしは主のはしためです。おことばどおり、この身になりますように」と答えました。

ベツレヘムに行くことになったヨゼフ様と共に、マリア様は長い旅をして、やっと目的地にたどり着きました。その時マリア様は、月満ちてイエス様をお産みになり、かいば桶の中に布にくるんでイエス様を寝かせました。こうしてマリア様は、神の御旨により神の母となり、イエス様が宣教の旅に出るまで、イエス様を育て、イエス様のために祈りました。

十字架の上で苦しみもだえるイエス様のかたわらで、悲しみにくれながら、マリア様は神に祈っておられました。悲しみの聖母の心は、はりさけんばかりの思いでしたが、マリア様は耐え抜きました。

聖母被昇天の祝日は、紀元後 7 世紀には、東方教会や西方教会のほとんどの教会で祝われていたそうです。聖母被昇天の祝い日は、最初 1 月 18 日に祝われていましたが、マウリシオ皇帝時代 (AD582 年～ 602 年) に、東方教会で今のように 8 月 15 日に祝われるようになったということです。

そして時代が進んで、1950 年 11 月 1 日、ピオ 12 世教皇様は、「マリア様は、この地上の道程を終えて、肉身と靈魂ともどもに天の栄光に引き上げられた」ことを、信仰すべき簡条としてお定めになりました。

今年の 8 月 15 日 (土)、午前 10 時からの聖母被昇天のミサにて、心にかけている人々の為に祈り、マリア様の取り次ぎをお願いいたしましょう。



# キリストの足跡を訪ねて

岩崎 好愛

もう一年以上前になりますが、昨年4月、思いがけず、キリストの足跡を訪ねる「聖地巡礼」の旅に行く機会が与えられ、体調や年齢を考えてこの機会しかないと思い、思い切って出かけてきました。聖地を訪ねることは、亡き夫と共にずっと考えていたことでしたが、イスラエルとパレスチナの紛争が続き、危険ということで延ばし延ばしにしてきたという経緯があって、実現できずにいました。

この旅は、戸塚教会と原宿教会の有志が、かつての主任司祭であったカーテン神父様（現在はカナダのスカボロ会修道院付き）のご好意で企画したもので、たまたま中和田教会に置かれてあったポスターを見て参加させていただきました。一行は、カーテン神父様、同じくカナダの修道院で一緒にマクドナルド神父様（81歳!）、それに戸塚教会が7名、原宿教会が10名、そして私の総勢20名でした。

日程もゆっくりととられていて、イエス様の足跡や旧約の時代からの遺跡や歴史など、大変興味深く見聞きすることができました。まさに百聞は一見に如かずの思いを強くした旅でした。そんな中から、印象深かったことを皆様にお分かちできたらと、少し書かせて頂くことにいたしました。

まず、聖書に出てくる地名や出来事が、私の頭の中ではいかにバラバラだったかを思い知らされました。最初に訪れたカイサリアにしても、“パウロが船出した地”くらいは知っていたとしても、ここにヘロデ王が屋敷を構え、その後500年間ローマ総督がおかれ、ポンティオ・ピラトもここに住んでいたことがあるということや、ペトロが百人隊長コルネリアに伝道し、初めて異邦人に福音が伝わった地もここであったことなど、場所と出来事がまったくバラバラだったのです。

ベテランのガイドさんと共にいろんな場所を訪れるうちに、イエス様の歩まれた場所の位置関係や距離関係、また旧約、新約の歴史の舞台が次第に掴めてきて、どんどん聖書の世界に引き込まれていくのを感じました。ガリラヤ湖から死海に向かう道筋は荒れ野が続きます。イエス様が悪魔の誘惑を受けられた荒れ野もこの道筋の途中でした。バスの中から眺めていると、イエス様が麻の衣を無造作に着て、サンダル履きで大股に歩かれる姿が目に見えるようで、声をかけたいくらいの懐かしさを覚えました。

ガリラヤ湖畔に滞在中には、楽しみにしていた“ペトロの魚”を食べる機会もありました。揚げてから煮てありましたが、ちょうど鯛を食べる時の食感で（身はもう少し柔らか）、大きさも鯛と同じくらいで、とても美味しく一匹全部食べました。

エルサレムに来てからは、イエス様ゆかりの地を訪ねるために、高い鉄板の塀で仕切られているパレスチナ自治区とイスラエルの間を何度か行き来しましたが、パレスチナで一人の少年が私に一本のオリーブの小枝を手渡してくれたので、喜んで「トダラバ」(ありがとう)と言って受け取ったら、さっと手を出して「ワン ダラー」と言ってきたのには複雑な思いをさせられました。

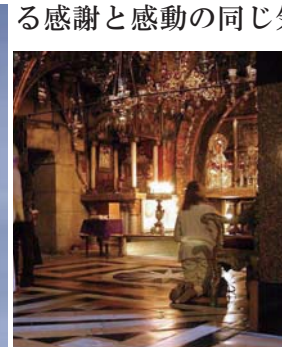


エルサレムに滞在中、ちょうどユダヤ教の安息日にぶつかりましたが、ユダヤ教の律法が今もしっかり守られている現実におつかる体験をいたしました。その日、彼らはエレベーターのボタンを押すことはせず、各階止まりでのんびりと行き来をします。またホテルの夕食の食器は、ナイフやフォークも含めてすべてプラスチック製でした。これには私達も驚かされました。別の日、部屋にカップを借りたいと申し出た時、「何を入れられるか分からないから穢れるからダメ」と断られる一幕もありました。また、麦から作られるものは御法度で、男性の方はビールが飲めず気の毒でした。

「死海写本」の見つかったクムラン、続いて紀元70年前後のユダヤ戦争におけるユダヤ人の悲劇的な最後の場であるマサダを訪ねました。木一本ない岩山の気温は40℃以上でした。古代ここに住んだ共同体の一人ひとりの信仰に生きる生きざまは想像を超えるものがあります。

旅の間は毎日ミサが捧げられ、バスで移動中は、その日訪れる場所に関わる聖書の箇所を朗読し、黙想しました。旅の最後の日のミサはゴルゴダの丘に建つ「聖墳墓教会」でした。この建物内部にはイエス様の受難の出来事にちなんだ沢山の祭壇がありますが、私達が使わせていただいた祭壇は「十字架の釘の祭壇」でした。すぐ横の祭壇はイエス様が架けられた十字架の跡の「十字架の祭壇」でした。

「聖墳墓教会」は現在カトリック、アルメニア正教、コプト派、ギリシャ正教の各派が管理しており、私達がミサに与った日はアルメニア正教が管理する日だったので、教会内にはアルメニアの祈りの声が響き渡り、私達は声をひそめて祈らなければなりません。もちろん聖歌も歌えませんでした。それでも、一同はわきあがる感謝と感動の同じ気持ちで心をひとつにしておりました。



エルサレムの聖墳墓教会

この度の巡礼によって、聖書を読み味わうときの感じ方が、少しは豊かになったような気がしています。そして、更にもっと主の語りかけをもっと身近に感じていけたらと願っています。

## 夏期学校！

7月25日夏期学校が開催されました。神父様の紙芝居、DVD鑑賞、畑の散策、花火、卓球、バーベキューと盛りだくさんで、みんなで仲良く楽しい一日を過ごしました。



### 石井 かすみ

きのう、かき学校で一番楽しかったことは、花火です。火をもらう時は一番びびっていたけど、やっているうちに楽しくなりました。でも、びびっている時はまだおおいです。でも一番よかったです。

### みそこ ひでき



### おおみやり くひろ

おえかきが たのしかったです。



### 美底 光紀

花火が楽しかったです。せんこう花火をさいごにやろうとしましたが、火をつけてもらえませんでした。



### ほんじょう はな

ろうそくもつときたのしかったです。はいるとき、きもだめしみたかったです。はいたらへびがいました。へびがあくまだたてせんせいたちがいました。

### かやば だいち

たっきゅうをたいちといっしょにやって、ラリーをつづけられたのがちよとうれしかった。たのしかったです。

### ブテュットマイ

きのうかき学校で一番楽しかったことは、花火が一番楽しかったです。

### 石井 太一

マリア様、イエス様、神様のおかげで、楽しいかき学校になりました。

### いたみ ひなこ



### 高原 リカ

バーベキューや花火やみんなでかげふみ とっても楽しかったです。

### ディン・ヴー・フォン・ミー

きのう、かき学校で花火が楽しかったです。



### フィンタンヒー

たっきゅうがたのしかった。

### グェンダンティ

花火やバーベキューやみんなでかげふみをしたのが楽しかったです。



### 高原 ひろき

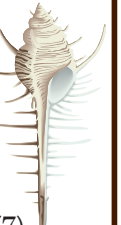
はなびがたのしかった。

## 典礼こよみ (8月)

日 曜	ミサ・勉強会	備考
1 土	主日ミサ (18時)	掃除 2 G (9時30分)
2 日	年間第18主日	主日ミサ (9時)
7 金	初金ミサ (10時)	掃除 1 G (9時30分)
8 土	主日ミサ (18時)	
9 日	年間第19主日	主日ミサ (9時)
15 土	聖母被昇天ミサ	ミサ (10時)
16 日	年間第20主日	主日ミサ (9時)
22 土		掃除 4 G (9時30分)
23 日	年間第21主日	子どもと共に捧げるミサ (9時)
27 木	聖モニカの記念日	ミサ (19時)
29 土		掃除 1 G (9時30分)
30 日	年間第22主日	主日ミサ (9時)

## 委員会だより

△7月12日(日) 12名出席▽



- 小林神父からのお話し
- 浜松教会の信者20人が7/30(木)に中和田教会に訪問される。当日の接待を宜しく。
- 平和旬間の集い：8月9日(日) 聖セシリア女子短期大
- 一粒会大会：10月12日(月、体育の日) 裾野市不二聖心女子学院
- 8月2日に『交わりとしての教会を目指して』他、司教教書を読んだの話し合いを教会委員にて持つて欲しい。

### ■報告・審議事項

- (1) 葬儀関係  
今井和夫様、石崎真様
- (2) 教会改修工事進捗  
男子トイレ改修工事着手。水曜日は葬儀で休みとなり、若干日程変更がある。
- (3) 湘南セミナー委員会(6月14日戸塚教会)  
セミナーの骨格が決定。今後ポスター作り、各教会への周知。本日負担金について方向性が出る予定。運営自体は詳細未定で、今後決まり次第中和田教会としての手伝い内容を明確化する。
- (4) 教会学校、中高生会の夏季学校  
7月25日に合同で実施。トイレ改修工事もあるので、合宿はなし。
- (5) 敬老祝福ミサ  
9月20日を予定。今回75才になられる方は事務Gにて調査。招待状は郵送でなく直接お渡しする。記念品については行事Gにて検討。予算額は3万円。
- (6) バザー 10月25日(日)  
趣旨も含め例年通り進める。バザー

委員会を8月23日に開催。バザー券は9月に販売開始。

(7) 信徒会運営の考え方  
委員長案が提示され、議論。趣旨は了解された。

基本的な考え方としては、信徒有志により『自発的に』毎年年初に設立。年度末に解散。教会運営や教会委員会とは独立。  
主な活動ターゲットはバザーの実行で、バザー委員会を設置し、バザー収益の処分まで実施。年度末には預金残高は『ゼロ』にして解散。

### ■各グループ連絡・報告事項

- a. 営繕G..  
トイレの改善提案が出てきている。モップ洗いの洗い槽の位置が使いにくく、バケツを入れて洗う物にしても腰が曲がり疲れないような工夫をする。建物を考える会にて引き当て額の範囲で実行する。
- b. 財務G..  
一般会計.. 6月度繰越金総額は2,537,862円  
月定献金の状況はほぼ予定に近い年額の45%程度となっている。  
建設会計.. 同4,647,229円  
● 愛の献金.. 同201,795円  
● 献金額の状況につき報告があり、今後課題や方向性につき、議論をしていく。献金袋を個人で出すか、世帯で出すか、公平性をどう担保するか、信仰と奉仕等との関係等も議論したい。
- c. 典礼G..  
典礼こよみ.. 8/15 10時聖母被昇天  
8/27 19時聖モニカ  
● 月修資料の配付方法の整理  
d. 行事G..  
敬老会とバザーについて準備を進めている。
- e. 宣教G..  
夏季学校(別項参照)

- 宮内神学生の司祭叙階式が来年度定されている。現在各教会を訪問されており、中和田教会にも10月頃いらつしやりたいとのこと。10月4日を候補日とする。
- 各教会からの分担金方式はとらず、中和田教会は戸塚、原宿教会と共に叙階式パーティーの計画を担務することとなった。
- 今年も区民クリスマスを応援していくこととなった。但し、教会としての公式な支援、参加ではなく、個人レベルでの協力、参加。
- 8/30に第5地区リーダーの研修会がある。
- f. 広報G..  
新しい連絡網に電話番号のミスがあり、早急に改版する。



### 委員会後記 小野委員長

7月25日に夏期学校(教会学校、中高生会)が開催され、大勢の方々のご参加を得て無事終了しました。準備や運営にご尽力を頂いた皆様、心より御礼申し上げます。この夏期学校の体験や思い出が、次代を担う青少年の皆さんの記憶に深く刻まれることを祈ります。

- 8月はお休みとなる例会や集いが多くなりますが、9月からは、
- ① 9/20.. 敬老祝福ミサ、祝賀会
  - ② 10/25.. バザー
  - ③ 11/7.. 湘南キリスト教セミナー

- ④ 11/22.. 初聖体ミサ、祝賀会  
といった具合に大きな行事が予定されており、
- ①、②、④は概ね例年通りの形で開催を予定しておりますが、皆様の変わらぬご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。
- ③は開催会場を中和田教会が担当するのは初めての経験であり、中和田教会あげてご協力を頂かなくてはなりません。準備は毎月第5地区全ての教会からセミナー委員が集まって進められており、中和田教会からは井上さんと石川さんが参画しておられますが、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。内容につきましては、近々皆様にご案内する予定です。

近々、司教書簡「交わりとしての教会をめざして」に続く、新しい司教書簡が横浜教区より発布される予定と伺いました。既に小林神父様のご指導でいろいろな場で「交わり」に関するお話し合い、分ち合いが進められていると思えますが、「諸教会の交わり」、「全ての信者の交わり」などをはじめとして、私たち信徒自身が深く掘り下げて考えねばならない切り口は多く、「小教区中心主義の克服」など、風土の刷新に向けた取り組みが求められています。是非、多くの信徒の皆様がこの取り組みにご参画下さいますようお願い申し上げます。

### お知らせ

ご逝去 2009年7月11日  
フランシスコザベリオ・ヨハネ  
石崎 信さん

